

2017年4月吉日

ユニシス研究会  
北海道支部会員各位

ユニシス研究会  
研究活動 運営委員会

## 2017年度 研究活動メンバー募集のご案内

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。  
ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題やこれからのITを駆使した働き方、AIやIoTなどの新技術の適用などをテーマに、会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また、相互研鑽の場として、各種の研究活動を推進しています。

今年度も、会員企業のリーダー・担当者クラスの方を対象に「グループ研究」形式により活動を進める研究活動を実施いたします。

研究活動の成果は、来年3月9日(金)開催予定の『研究活動発表会』などでご発表いただく他、特に優れた成果には、ユニシス研究会で最も荣誉ある『エッカード賞』候補としても推薦されることになっております。

ビジネスヒント発掘や企業の枠を超えた人材育成、新しい交流の場としてご活用いただきたく、下記要領にてご案内いたします。

皆様のお申し込みをお待ちいたしております。

敬具

### 1. 研究テーマ:

テーマは研究メンバーでお話し合いのうえ決定いただきます。

テーマ案は、添付の「2017年度 活動テーマ案」をご参照下さい。

### 2. 参加資格:

ユニシス研究会会員企業の方であればどなたでも参加いただけます。

### 3. 参加費用:

本年度研究活動費として1企業あたり、 ¥20,000 を申し受けます。

\* 参加人数に係わらず、1企業あたり、 ¥20,000

\* 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へ参加費用をご請求させていただきます。

なお、請求書送付先が連絡責任者と異なる場合は申し込みの際に連絡欄にご記入願います。

活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

#### 4. 研究活動の運営について:

グループは原則定員5名以上10名以下として編成します。

主体はご参加いただく皆様です。

基本的にはグループに参加された方の自主活動です。

日本ユニシスグループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

#### 5. 活動期間と会合回数:

本年5月より2月末まで(発表会を除く)

グループにより差がありますが、15回～20回程度の会合を見込みます。

北海道グループ発足式は、5月15日(月) 16:00～17:30 を予定しております。

来年1月下旬に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。

- \* 研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の構成力・表現力は基より、汎用性・手法・独創性・独自性など考慮して査読審査をさせていただきます。

来年3月9日(金)に全国のグループが一同に会し行われる「研究活動発表会(東京)」にて、研究活動の成果を発表いただきます。

研究活動の中間報告、親睦を図る場として、グループリーダー・サブリーダーを対象とした「サマースクール;9月1日(金)・2日(土)1泊(予定)」を開催いたします。

リーダー・サブリーダーに選出された方々につきましては事前にご了承ください。

サマースクールに関わる交通費・宿泊費は、ユニシス研究会にて負担いたします。

- \* サマースクールは、リーダー、サブリーダー方々の不安解消、他グループとの交流を目的として行いますが、それまでにグループ内で活動テーマ、活動状況、今後の方向性をしっかり議論してその内容をご報告いただきます。

(詳細は別途リーダー・サブリーダーの方が確定後、ご案内いたします。)

#### 6. お申し込み方法:

添付の「参加申込書」にご記入のうえ、FAX またはメールにてお申し込みください。

#### 7. お申し込み締切り:

5月12日(金)

8. お問い合わせ先:

ユニシス研究会 北海道支部事務局

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目32 日本ユニシス(株)北海道支店内

TEL: 011-558-1111 (平日 9:00 ~ 17:30)

<mailto:unih3-box@unisys.co.jp>

9. その他:

ご報告(発表資料含む)いただいた研究活動成果(研究活動活動報告書、プレゼン資料等)の著作権は著者に帰属いたしますが、著者はユニシス研究会が主幹する「機関誌など刊行物掲載」、「WEB サイトへの掲載」など、ユニシス研究会としての研究活動成果配布に係わる一切の権利(個人名・会社名・所属先の公開を含む)をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

以上

## 2017年度 活動テーマ案（北海道支部）

キーワード	募集対象	テーマタイトル案	活動内容（案）	
1	ロボティクス	ユーザ企業の 情報システム部門	その仕事代わりに引き受けます！ 社内業務に活用するロボット	一般企業における生産活動において、ロボットが人間に代わって活動できる分野について検討し、その技術の活用により実現できる生産性向上案について提言する。
2	人工知能（AI）	ユーザ企業の 情報システム部門	あなたの会社で「役立つAI」とは？ 新しいサービスの創り方の可能性	ビジネスの現場において、業務課題の解決や改善に一役買ってくれるAIとは何か？その可能性を探り、提言する。
3	クラウド	ユーザ企業全般の 業務システム担当 （インフラ、システム開発）	企業業務システムでのパブリッククラウド 利用によるメリット・デメリットおよび ビジネスモデルについて	企業のITインフラとして（パブリック）クラウドの利用が広まる中、見えてきた課題とさらなるメリットの追求や新たな事業などの展開についても検討し、提言する。
4	システム本番運用、 リスク対応、 緊急時体制	情報システム部門、IT企業	システム本番運用直後の問題 についてのリスク洗い出しの方法と 対応準備体制（緊急対応体制） について考える	より複雑化・高度化・広範化するシステムについて起こりうる諸問題に備え、準備すべきこと（リスクの洗い出し、対応体制の整備など）について事例調査、研究を実施する。
5	働き方改革	ユーザー企業の 情報システム部門	働き方改革へのITの果たす役割	「働き方改革」が課題として取り上げられる中、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを中心としたICTの活用が今後どのように変革を進めていくのか、最新の事例を調査し提言する。
6	セキュリティ	ユーザ企業の 情報システム部門・ 情報セキュリティ管理部門	企業のセキュリティ対策	標的型攻撃への対応、働き方改革による社外からの業務システムの利用、マイナンバーの取り扱い、IoTの活用、クラウドサービスの活用など、システム環境が大きく変わる中、セキュリティ対策に関する新たな課題を検討し、解決策を提言する。
7	性能テスト	IT部門の管理者・担当者	最大の効果を得るための 性能テスト技術	システム利用者の満足度や業務効率を向上させるため、性能品質をいかにして上げていくかを、要件定義、設計・構築、テストといった工程を通して議論、研究する。
8	ブロックチェーン	ユーザー企業の IT企画部門の管理者・担当者 ユーザー企業のITインフラ部 門の管理者・担当者	ブロックチェーンっていったい何？ 新たなビジネスモデルの探求	近年FinTechの潮流の中で、基盤技術であるブロックチェーンが注目されており、その基盤の上に立つ仮想通貨等の仕組みについて理解し、今後の展望、新たなビジネスモデル例から活用方法を探究する。
9	DevOps	ユーザー企業の 情報システム部門、 企画部門	「DevOps」の有用な活用方法を提言	システム開発者とシステム運用者が互いに協力し、ビジネス側の要求に対して柔軟かつスピーディに対応していくことを目指す「DevOps」の考え方を理解し、現在の組織やプロセスをどのように変えていくべきなのか、その中で障壁をどのように乗り越えていくのかを研究し、提言する。
10	IoT、データ活用	情報システム部門、 事業部門	IoT時代におけるデータ活用 の現実的運用を考える ～正当なデータ利用法と 企業利益の追求～	あらゆるデータが収集され利用され売買される時代、自社内に潜むデータの価値を見出し、どのように収集分析し、どのような付加価値を産み出せばよいか、また安全かつ正当に利用するためにどのように運用していくのか、データ利用の本質的な意義と価値を産む分析手法、創出される付加価値を再考し、企業組織における現実的な運用案を研究する。
11	IoT 現場業務支援	情報システム部門、 事業部門	IoTを活用した現場業務 の品質向上 および業務処理期間 の短縮について考える	IoTと連携することで、従来の現場業務（点検・巡視計画、故障修理対応、業務支援）が高品質、短期間で実施することが可能となりつつある。そのための方法と効果について研究する。
12	物流品質	物流業界・物流業務に 関わる部門	将来の物流のあり方とそれを支える IT技術を考える	ネット通販市場の拡大などによる物流量が増大する中、車両の自動運転技術、IoT、ロボットやAIを活用することで、物流品質としてどのような価値が創出されるのかを検討し、将来への展開について動向を探る。

<添付2>

ユニシス研究会 北海道支部事務局 行

FAX: 011 - 737 - 1161 E-mail: [unih3-box@unisys.co.jp](mailto:unih3-box@unisys.co.jp)

## ユニシス研究会北海道支部「研究活動」参加申込書

### 【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただくお客様の個人情報は、日本ユニシス株式会社、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業等からの製品・サービスに関する情報提供、イベント・セミナー等のご案内及びマーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客様の個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止等のお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問合せ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

- 当社グループ企業への個人情報の提供について [http://www.unisys.co.jp/com/privacy/u\\_group.html#1](http://www.unisys.co.jp/com/privacy/u_group.html#1)
- 日本ユニシスグループ企業 各社個人情報保護方針 <http://www.unisys.co.jp/com/group.html>
- ユニシス研究会 個人情報保護方針 <http://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局 事務局長 秋田 茂

**同意する**

【個人情報の問合せ窓口】ユニシス研究会 北海道支部事務局

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目32 日本ユニシス(株)北海道支店内

TEL: 011-558-1111 (平日 9:00 ~ 17:30)

### 【ご参加者】

会 員 名	
所 属 役 職 名	
フリガナ 参加者名	
メールアドレス	
電話番号	(       )
連絡欄	

複数名ご参加の場合は本紙をコピーの上ご利用下さい。